

事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	開かれた市政の推進	担当部署名	総合政策部政策推進課	担当課長名	衛門 昭彦
事務事業名 (※)第1期実施計画の事業名	みんなでつくるまち推進会議事業	(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号/枝番号	6011	1	ア
財務会計上の事業名	委員報酬事業	財務会計上の短縮番号	105		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

事業区分	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input checked="" type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の対象【誰(何)を】	市民、市議会、執行機関等
事業の手段【どうする(させる)ことで】	みんなでつくるまち推進会議の意見を取り入れながら、協働のまちづくりの仕組みづくりを行う。
事業の目的【どのような結果を得るか】	市民、市議会、執行機関等の協働によるまちづくりを進める。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成 18年度 ~) <input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度~平成 年度)
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成25年度 <input type="checkbox"/> 未実施
※見直し内容を記入	会議の目的を具体化させるため、市長から諮問し、答申をもらう形に変更した。
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項までを記入	池田市みんなでつくるまちの基本条例 第22条

2 事業コスト・指標値の推移

区分	23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (決算)		26年度 (予算)		H25/H24	
事業費(千円)	373		0		224		447		-	
人件費(人・千円)	0.23	1,840	0.08	624	0.29	2,262	0.27	2,106	362.5%	
事業コスト等 内訳	正職員	0.23	1,840	0.08	624	0.29	2,262	0.27	2,106	362.5%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A	2,213		624		2,486		2,553		398.4%	
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源	2,213		624		2,486		2,553		398.4%
受益者負担率 B÷A									-	

指標値	区分	内容	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	みんなでつくるまち推進会議開催	回	3	0	2	3	3
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない
26年度の取組方針	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止
選択の理由	協働の推進という会議の目的を明確化させるため、25年度に市長から諮問を行った。26年度に協働に関する事例集を作成し、推進会議としての要望等も付け加えた形で答申をいただく予定。それを活用することで、より一層協働が進むものと考えている。

(参考)今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能
選択の理由	企画・立案等の市政運営に関わる事務のため、アウトソーシングはできない。

4 担当部長が考える今後の方向性・見直し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
市民との協働の必要性について、全庁的な意識の統一できていない。26年度に作成する協働事例集を活用するなど、全庁的に協働の意識付けを行っていくことが必要。	24年度は開催できなかったが、25年度は新たな委員を迎え、今後の市政のあり方等について建設的な議論を実施していくことが必要。

事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	開かれた市政の推進	担当部署名	市長公室広報広聴課	担当課長名	武田克彦
事務事業名 (※)第1期実施計画の事業名	広報誌等発行事業	(※)第1期実施計画の 分類番号/事業番号/枝番号	6012	1	
財務会計上の事業名	広報誌等発行事業	財務会計上の短縮番号	335		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市市財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の対象 【誰(何)を】	市民
事業の手段 【どうする(させる)ことで】	「広報いけだ」「グラフいけだ」「暮らしの便利帳」の発行、記者クラブへの記事提供など。
事業の目的 【どのような結果を得るか】	市政やまちの話題を広く提供し、市政への理解と市民参加を促進する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (昭和25年度 ~) <input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度~平成 年度)
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成21年度 <input type="checkbox"/> 未実施
※見直し内容を記入	民間業者のサイネックス社との協働で便利帳を発行
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項 までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

区分	23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (決算)		26年度 (予算)		H25/H24		
事業費(千円)	19,308		18,683		19,188		21,745		102.7%		
人件費(人・千円)	3.50	28,000	2.80	21,840	3.00	23,400	2.80	21,840	107.1%		
事業コスト等	内訳	正職員	3.50	28,000	2.80	21,840	3.00	23,400	2.80	21,840	107.1%
		再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
		任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
		非常勤職員		0		0		0		0	-
		アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A		47,308		40,523		42,588		43,585		105.1%	
財源	国・府支出金	574								-	
	受益者負担 B									-	
	その他財源	3,426		3,295		3,334		3,240		101.2%	
	一般財源	43,308		37,228		39,254		40,345		105.4%	
受益者負担率 B÷A										-	

指標値	区分	内容	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	「広報いけだ」の発行	回	14	12	13	13	13
(2)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	「グラフいけだ」の発行	回	1	1	0	0	0
(3)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	「暮らしの便利帳」の発行	回	0	0	0	0	0
(4)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	新聞社への記事提供	回	134	178	114	180	180

3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない
26年度の取組方針	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止
選択の理由	市政情報を幅広く多くの方に届けるために、継続して実施すべき事業である。
(参考)今後のアウトソーシング 導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input checked="" type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能
選択の理由	広報誌作成は民間でも作成可能。ただし、内容に関することは市職員の一定のチェックが必要になる。また新聞社への情報提供は市職員でないと難しいと考える。

4 担当部長が考える今後の方向性・見直し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
これまでも市民目線、読者目線で情報を伝える親しみやすい広報誌づくりを進めてきたが、情報量が多すぎる、文字が小さくて見難い、スピード感のある情報発信が困難等の課題もある。購読者層の高齢化も視野に入れた改善が必要。市政情報の詳細はHPやSNSでも補完できるので、紙媒体である広報誌については、「より親しみがもて、見やすく、わかりやすい」をモットーに、市民との協働やアウトソーシングについても今後積極的に推進すべきである。	市の広報誌は無償で全戸配布されるものであることから「本当にどのくらい読まれているかどうか」を確認する方法がない。市民が広報誌に求めることが何かを見極め、「ちゃんと読んでもらえる広報誌」を旨とした改善が必要。

事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	開かれた市政の推進	担当部署名	市長公室広報広聴課	担当課長名	武田克彦
事務事業名	(※)第1期実施計画の事業名 声の広報作成事業	(※)第1期実施計画の 分類番号/事業番号/枝番号	6012	5	ア
財務会計上の事業名	声の広報作成事業	財務会計上の短縮番号	350		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の対象 【誰(何)を】	1・2級の視覚障害者
事業の手段 【どうする(させる)ことで】	声の広報(録音版「広報いけだ」)作成・配布
事業の目的 【どのような結果を得るか】	広報誌を読むことのできない視覚障がい者に対して、市政やまちの話題を広く提供する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成4年度～) <input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度～平成 年度)
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成25年度 <input type="checkbox"/> 未実施
※見直し内容を記入	25年度に「池田声の図書」からの協働事業提案を受け、26年度から大阪視覚障害者福祉協会で製作しているものを変更する予定
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項 までを記入	障害者自立支援法の地域生活支援事業

2 事業コスト・指標値の推移

区分	23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (決算)		26年度 (予算)		H25/H24		
事業費(千円)	616		590		589		760		99.8%		
人件費(人・千円)	0.20	1,600	0.10	780	0.10	780	0.20	1,560	100.0%		
事業コスト等	内訳	正職員	0.20	1,600	0.10	780	0.10	780	0.20	1,560	100.0%
		再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
		任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
		非常勤職員		0		0		0		0	-
		アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A		2,216		1,370		1,369		2,320		99.9%	
財源	国・府支出金									-	
	受益者負担 B									-	
	その他財源									-	
	一般財源	2,216		1,370		1,369		2,320		99.9%	
受益者負担率 B÷A										-	

指標値	区分	内容	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	録音版「広報いけだ」の発行	回	12	12	12	12	12
(2)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	市ホームページへの音声版広報	回	12	12	12	12	12
(3)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	録音版「広報いけだ」の発行本数	本	242	217	216	220	220
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない
26年度の取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止
選択の理由	製作者が「池田声の図書」に変わること、読み原稿の作り方や記事の分量などに違いがで、より一層記事の精査を進める必要がある。
(参考)今後のアウトソーシング 導入の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能
選択の理由	読み原稿は広報広聴課で作成、それ以外の部分は委託している

4 担当部長が考える今後の方向性・見直し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
デイジー化を進めるにあたってハードルとなっているのは、これまで慣れ親しんだテープ媒体からCD媒体への変更に伴う利用者の対応。特に、一般にはまだ広く知られていないデイジー化については、広報誌の中でも今後その利便性や補助内容等について十分に説明していく必要がある。	デイジー化とは、音声パソコン等で再生可能な音声ファイル(mp3形式)に変換しCDに保存して配布すること。テープと異なり、聞きたい部分を頭出しでき必要な情報がすぐ得られる。専用機器には3万5千円を上限に補助金(所得により本人1割負担)が出るので、福祉部とも連携をとり進めていきたい。

事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	開かれた市政の推進	担当部署名	市長公室広報広聴課	担当課長名	武田克彦
事務事業名 (※)第1期実施計画の事業名	まちづくり出前講座事業	(※)第1期実施計画の 分類番号/事業番号/枝番号	6012	3	
財務会計上の事業名	—	財務会計上の短縮番号	—		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业				
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()				
事業の対象 【誰(何)を】	市民				
事業の手段 【どうする(させる)ことで】	市職員が地域に出向き、制度や計画、実施事業等地域の実情に即した内容を説明				
事業の目的 【どのような結果を得るか】	市政全般に渡る理解を深め、市民と協働してのまちづくりを一層促進する。				
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成19年度 ~) <input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度~平成 年度)				
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成21年度 <input type="checkbox"/> 未実施				
※見直し内容を記入	政策推進課から広報広聴課へ事業が移管したことを受け、講座のメニューに入っていないものでも各課で対応できるものなら開催してもらうなど、市民が受講しやすいようにした。				
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度				
※根拠となる法令の条項 までを記入					

2 事業コスト・指標値の推移

区分	23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (決算)		26年度 (予算)		H25/H24	
事業費(千円)									-	
人件費(人・千円)	0.10	800	0.10	780	0.10	780	0.10	780	100.0%	
事業コスト等 内訳	正職員	0.10	800	0.10	780	0.10	780	0.10	780	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A	800		780		780		780		100.0%	
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源	800		780		780		780		100.0%
受益者負担率 B÷A									-	

指標値	区分	内容	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	開催人数	回	16	22	7	20	20
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	参加人数	人	636	737	270	300	300
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
26年度の取組方針	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止				
選択の理由	「池田市みんなでつくるまちの基本条例」や「池田市地域分権の推進に関する条例」をはじめ、本市の取り組みに関する啓発推進にむけ、実施すべき事業である。				

(参考)今後のアウトソーシング 導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input checked="" type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能				
選択の理由	出前講座の内容が行政に関するものは職員でなければ難しい。また、市役所の職員に来て欲しいという要望も高い。但し内容によっては市民等を講師に招くことは可能と考える。				

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
これまで実施回数、参加回数はともに増加傾向にあったが、平成25年度については、残念なことにいずれも大きく減少する結果となった。今後も市民により身近に市役所を感じてもらうとともに、まちづくりに対する興味や理解を深めていただくことは、市民との協働のまちづくりを推進する上で必要不可欠と考えるので、広報誌やHP等を通じて制度や実績の周知を図るとともに、各課で直接市民等の要請を受けて実施している説明会等の状況も調査し実績に反映していきたい。	実施回数、参加回数はともに増加傾向にあり、今後も市民により身近に市役所を感じてもらうとともに、まちづくりに対する興味や理解を深めていただくことは、市民との協働のまちづくりを推進する上で必要不可欠。また、市の職員が講座の講師を務めることで、職員のスキルアップが図れ人材育成にもつながると期待。

事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	開かれた市政の推進	担当部署名	市長公室広報広聴課	担当課長名	武田克彦
事務事業名 (※)第1期実施計画の事業名	CATV情報発信事業	(※)第1期実施計画の 分類番号/事業番号/枝番号	6012	4	イ
財務会計上の事業名	CATV情報発信事業	財務会計上の短縮番号	362		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の対象 【誰(何)を】	市民、その他
事業の手段 【どうする(させる)ことで】	CATVで市政やまちの話題を広く提供する。
事業の目的 【どのような結果を得るか】	CATV市広報番組の制作・放映による情報発信
実施期間	<input type="checkbox"/> 継続 (平成 年度 ~) <input checked="" type="checkbox"/> 時 限 (平成9年度~平成25年度)
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成25年度 <input type="checkbox"/> 未実施
※見直し内容を記入	平成23年度より、3か月に1回の放送回数としてきたが平成25年度から、定時の放送分を廃止、臨時放送分のみとした。
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項 までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

区 分	23 年度 (決算)		24 年度 (決算)		25 年度 (決算)		26 年度 (予算)		H25/H24	
	事業費(千円)	4,337		3,662		0		0		0.0%
人件費(人・千円)	0.30	2,400	0.30	2,340	0.20	1,560	0.00	0	66.7%	
内 訳	正職員	0.30	2,400	0.30	2,340	0.20	1,560		0	66.7%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A	6,737		6,002		1,560		0		26.0%	
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源	6,737		6,002		1,560		0		26.0%
受益者負担率 B÷A									-	

指標値	区 分	内 容	単 位	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	市広報番組の編集制作	回	5	4	0	0	0
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない
26年度の取組方針	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止
選択の理由	池田市の放送枠が減り、CATVの費用対効果がかつてほど見られないため。現在では、インターネットによる情報提供のツールも増え、有効な手段がないか見直す。

(参考)今後のアウトソーシング 導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能
選択の理由	民間による効果的な池田のPRを期待したい

4 担当部長が考える今後の方向性・見直し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
CATV情報発信事業は、平成25年度の市長・副市長ヒアリングの判定を踏まえて、同年度末をもって廃止した。今後は、インターネット環境を活用した動画の配信等により、市政やまちの話題を広く提供することを、シティプロモーション戦略のひとつとして進めていく必要がある。	CATV以外の映像発信ツールが普及しつつある中、CATVによる情報発信事業は費用対効果という側面とインターネット環境を活用した市のPR事業(シティプロモーション戦略)の推進という2つの側面から今後見直しを検討していく必要があると考える。

事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	開かれた市政の推進	担当部署名	市長公室秘書課	担当課長名	高木勝治
事務事業名 (※)第1期実施計画の事業名	コミュニTEAトーク開催	(※)第1期実施計画の 分類番号/事業番号/枝番号	6013	1	
財務会計上の事業名		財務会計上の短縮番号			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の対象 【誰(何)を】	市民
事業の手段 【どうする(させる)ことで】	月1回自由参加で開催
事業の目的 【どのような結果を得るか】	市長と市民が直接対話できる機会を設定することにより、市民に広く市政への関心を深めていただく。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成7年度 ~) <input type="checkbox"/> 時 限 (平成 年度~平成 年度)
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未 実 施
※見直し内容を記入	
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項 までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

区 分	23 年度 (決算)		24 年度 (決算)		25 年度 (決算)		26 年度 (予算)		H25/H24	
事業費(千円)									-	
人件費(人・千円)	0.54	4,320	0.54	4,212	0.54	2,532	0.57	2,766	100.0%	
内 訳	正職員	0.54	4,320	0.54	4,212	0.14	1,092	0.17	1,326	25.9%
	再任用短時間勤務職員		0		0	0.40	1,440	0.40	1,440	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A		4,320		4,212		2,532		2,766	60.1%	
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源		4,320		4,212		2,532		2,766	60.1%
受益者負担率 B÷A									-	

指標値	区 分	内 容	単 位	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	参加者数	人	209	95	72	100	100
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない
26年度の取組方針	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止
選択の理由	参加者数が場所の関係上限られているため人数は減少。

(参考)今後のアウトソーシング 導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input checked="" type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能
選択の理由	資料作成等は可能。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
市民とより身近な対話の機会をということで開催。今後も市長の意向に基づきながら検討していく。	市民とより身近な対話の機会をということで開催。市長の意向に基づきながら検討していく。

事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	開かれた市政の推進	担当部署名	市長公室広報広聴課	担当課長名	武田克彦
事務事業名	(※) 第1期実施計画の事業名 なんでも相談事業(途中名称変更→市民相談事業)	(※) 第1期実施計画の 分類番号/事業番号/枝番号	6013	2	
財務会計上の事業名	なんでも相談事業 (途中名称変更→市民相談事業)	財務会計上の短縮番号	200		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の対象 【誰(何)を】	市民
事業の手段 【どうする(させる)ことで】	相談者の相談内容を聴き、市で解決できるものは担当部局と連携し、解決を図る。その他については、適切な機関を紹介する。また個別民事については広報広聴課で実施している専門相談を利用してもらう。
事業の目的 【どのような結果を得るか】	各相談を通じて市民の声を聴き、適正・迅速に処理することで市民ニーズに応える。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成4年度 ~) <input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度~平成 年度)
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成24年度 <input type="checkbox"/> 未実施
※見直し内容を記入	建物相談を実施。「市民の声」については、共有フォルダ内で職員の閲覧を可能とした。
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項 までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

区分	23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (決算)		26年度 (予算)		H25/H24	
事業費(千円)	1,595		1,659		1,548		1,561		93.3%	
人件費(人・千円)	4.20	16,440	4.20	16,380	5.10	15,820	3.00	12,060	121.4%	
内訳	正職員	0.30	2,400	0.30	2,340	0.30	2,340	0.30	2,340	100.0%
	再任用短時間勤務職員	3.90	14,040	3.90	14,040	2.80	10,080	2.70	9,720	71.8%
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0	2.00	3,400		0	-
支出合計 A	18,035		18,039		17,368		13,621		96.3%	
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源	18,035		18,039		17,368		13,621		96.3%
受益者負担率 B÷A									-	

指標値	区分	内容	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	法律相談	人	333	335	335	350	350
(2)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	その他専門相談	人	250	242	260	300	300
(3)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	一般相談者	人	8391	8855	6333	7000	7000
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない
26年度の取組方針	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止
選択の理由	広報広聴課が実施する法律相談や司法書士・行政書士相談等は大変好評である。また過去の問い合わせに対する回答データの集積群が、新規の相談を受ける際、信用のおける指針となり始めている。

(参考)今後のアウトソーシング 導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input checked="" type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能
選択の理由	市民の相談内容は多種多様である。アウトソーシングするのであれば、市役所全体の業務内容に精通した方をお願いする必要がある。簡易な案内業務程度であればアウトソーシングは可能ではないか。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考) 昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
今後も市民からの広範囲で多種多様な相談に対して、的確で迅速な対応ができるような相談体制の整備に努めるとともに、各種相談を通じて得た市民の声を庁内(職員)に対して発信し、各課における業務改善に繋げていきたい。	過去3年間を見ると、一般相談者が増加、法律相談が横ばい、その他専門相談は微減という状況にあり、総相談件数としては増加傾向にある。今後もニーズに即した相談体制の整備に努め、市民ニーズに応えていきたい。

事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	開かれた市政の推進	担当部署名	市長公室広報広聴課	担当課長名	武田克彦
事務事業名	(※)第1期実施計画の事業名	情報公開事業	(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号/枝番号	6014	2
	財務会計上の事業名	情報公開事業	財務会計上の短縮番号	175	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の対象【誰(何)を】	市民
事業の手段【どうする(させる)ことで】	池田市情報公開条例に基づき情報公開を実施。池田市個人情報保護条例に基づき個人情報の開示を実施。
事業の目的【どのような結果を得るか】	市の保有する情報の開示を行い、市民と市の信頼関係を深める。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成16年度 ~) <input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度~平成 年度)
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成22年度 <input type="checkbox"/> 未実施
※見直し内容を記入	開示決定については、担当課が主幹となることにした
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項までを記入	池田市情報公開条例、池田市個人情報保護条例

2 事業コスト・指標値の推移

区分	23年度(決算)		24年度(決算)		25年度(決算)		26年度(予算)		H25/H24	
	事業費(千円)	92		86		79		208		91.9%
人件費(人・千円)	0.90	6,760	1.00	7,380	0.90	6,180	0.80	5,400	90.0%	
内訳	正職員	0.80	6,400	0.90	7,020	0.70	5,460	0.60	4,680	77.8%
	再任用短時間勤務職員	0.10	360	0.10	360	0.20	720	0.20	720	200.0%
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A	6,852		7,466		6,259		5,608		83.8%	
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B	201		228		189		200		82.9%
	その他財源									-
	一般財源	6,651		7,238		6,070		5,408		83.9%
受益者負担率 B÷A	2.93		3.05		3.02		3.57		98.9%	

指標値	区分	内 容	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	目標値(H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	不服申し立てがなかった割合	%	100	99.2	99.4	100	100
(2)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	情報公開請求件数	件	194	220	283	-	-
(3)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	個人情報請求	件	42	44	51	-	-
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない
26年度の取組方針	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止
選択の理由	24・25年度と一部、不服申し立てもあったが、概ね開示請求者の方々には、開示内容(不開示含む)にご納得いただいているようである。26年度は、開示請求者に対し、丁寧な説明を心がけ(不開示であっても)ご理解いただけるよう努める。
(参考)今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能
選択の理由	プライバシーにあたる個人情報を取り扱うため。また、事案ごとに判断が必要であるため。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
情報公開制度が始まって平成26年度で10年目にあたる。各課において公開・非公開を判断する上で参考しているのは、現在でも条例制定当初に策定された逐条解説(「趣旨と解説」)であるが、その後の運用の中で得られた経験や実際に異議申し立てがあった事例等から、今後の公開・非公開の判断のための担当者マニュアル(指針)が必要であると考えている。	平成16年度に情報公開が始まって10年にあたる。過去において異議申し立てがあった事例等を参考に、公開・非公開の判断のための指針が必要。各担当課が行う判断について担当者が変われば市の見解が変わるものであってはならない。

事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	開かれた市政の推進	担当部署名	市長公室秘書課	担当課長名	高木勝治
事務事業名 (※)第1期実施計画の事業名	市政功労者表彰式、高額寄付者感謝状贈呈式	(※)第1期実施計画の 分類番号/事業番号/枝番号	601		
財務会計上の事業名	市政功労者表彰式、高額寄付者感謝状贈呈式	財務会計上の短縮番号	145		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の対象 【誰(何)を】	①池田市表彰条例第3条、第4条、第5条、第6条及び第7条に規定する者及び団体 ②本市の市民または市民団体ならびに、本市にゆかりの深い個人または団体で、市政の発展に寄与したもののならびに様々な分野において特筆すべき功績のあったもの ③10万円相当以上の金員又は物品を寄附された方
事業の手段 【どうする(させる)ことで】	顕彰すること。
事業の目的 【どのような結果を得るか】	労うこと。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (昭和37年度 ~) <input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度~平成 年度)
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
※見直し内容を記入	
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項 までを記入	池田市表彰条例及び同条例施行規則

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (決算)		26年度 (予算)		H25/H24
		事業費(千円)	272		561		742		874	
内訳	人件費(人・千円)	0.28	2,240	0.28	2,184	0.28	2,184	0.38	2,964	100.0%
	正職員	0.28	2,240	0.28	2,184	0.28	2,184	0.38	2,964	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A		2,512		2,745		2,926		3,838		106.6%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源	2,512		2,745		2,926		3,838		106.6%
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区分	内 容	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	市政功労者表彰式被表彰者	人	31	50	28		
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	高額寄附者	人	36	30	28		
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない
26年度の取組方針	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止
選択の理由	目標を設定した事業ではなく、本市に貢献された方や団体に対して、池田市としてその功績を称え、謝意を示す場であるため。

(参考)今後のアウトソーシング 導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input checked="" type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能
選択の理由	資料作成等は可能。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
本市に貢献された方や団体に対して、池田市としてその功績を称え、謝意として実施していく。	本市に貢献された方や団体に対して、池田市としてその功績を称え、謝意として実施していく。